おすすめの教育書（お時間があれば、ぜひ！）

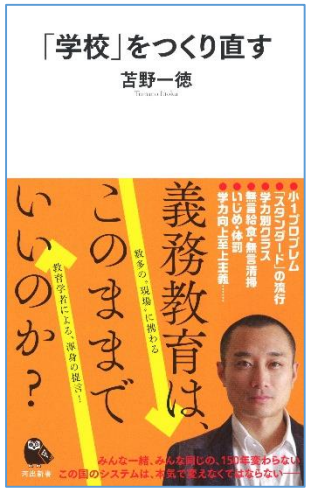
「非常識な教え」（工藤勇一）

「マンガで知る未来への学び」（前田康裕）

「子どもの脳を傷つける親たち」（友田明美）

「ケーキの切れない非行少年たち」（宮口幸治）

「学校をつくり直す」（苫野一徳）



子どもたちに求められる資質・能力

どんな人と一緒に仕事をしたいですか？
次から、２つえらんでください！

1　勉強の成績がいい

2　思いやりがある

3　責任感がある

4　運動神経がいい

5　自信に満ちている

6　明るくておもしろい

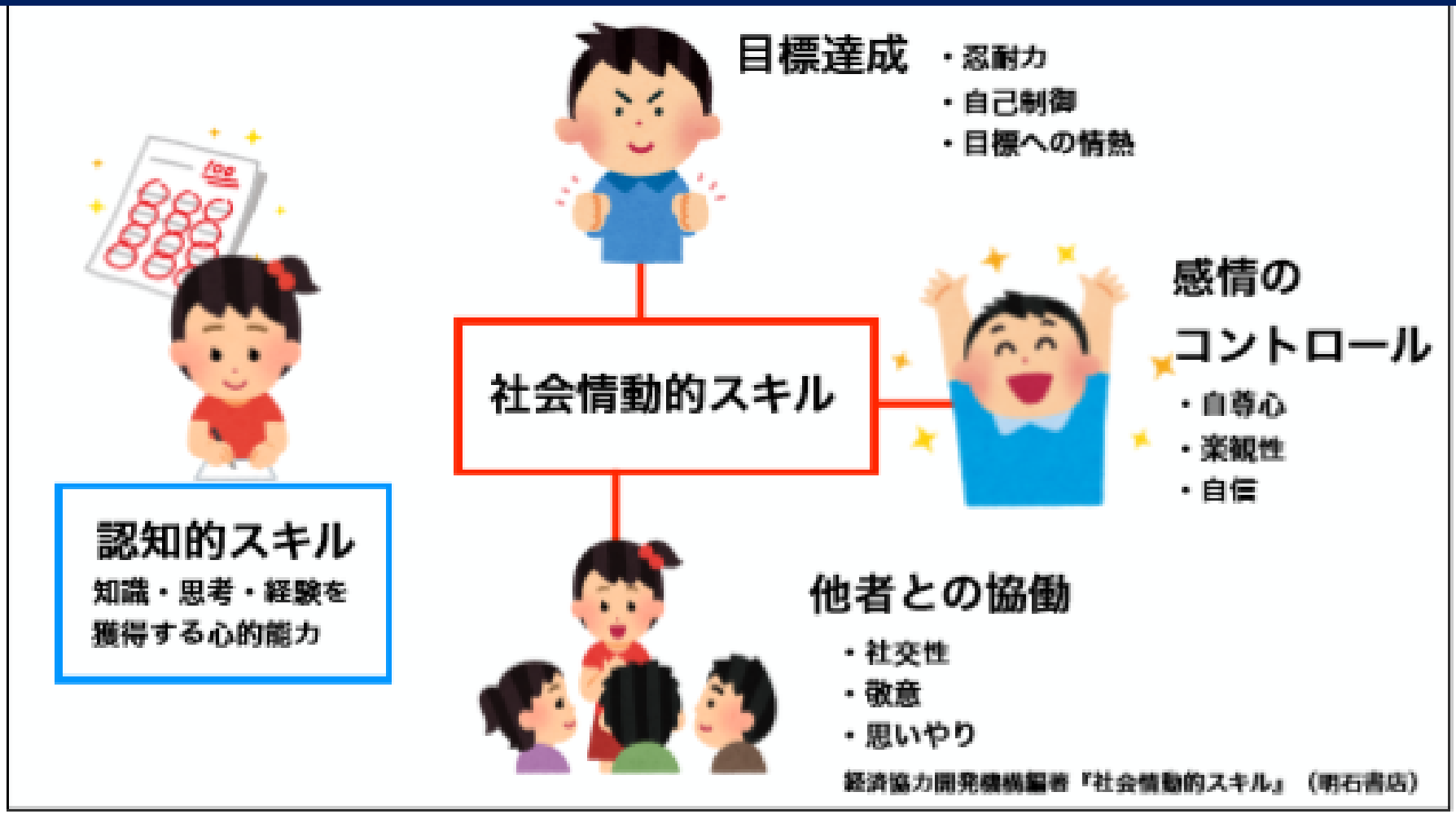
7　人の意見をよく聞く

8　まじめに努力する

9　がまんづよい

10　夢を持っている

子どもたちに求められる資質・能力

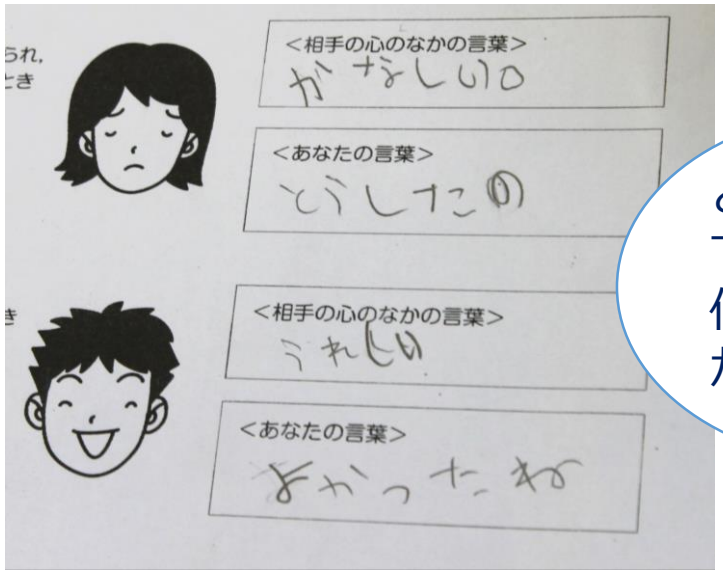


一人でコツコツやる仕事は、コンピュータ（AI）が行うようになる?!

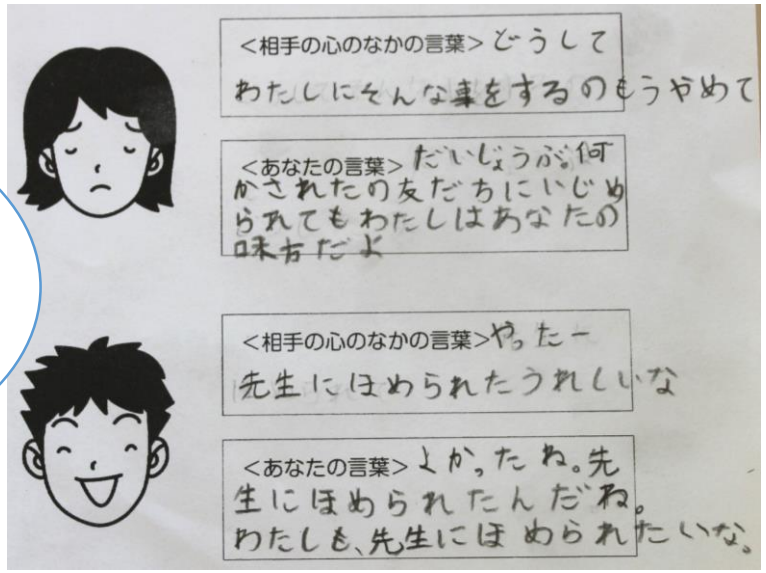
人間にしかできない仕事をするためには、
人間としての「**社会情動的スキル**」を身に付けることが大切！

語彙を豊かにし、学力差を埋めるためには？

○「言葉の力」→語彙力の向上は急務！



どんな気持ち
でしょう？
何と声を
かけますか？



小学校の先生方にお聞きすると、「自分の気持ちをコントロールできない子供が増えたが、それは**自分の感情を言葉で表現できないから**ではないか」との指摘が多くありました。（中略）子どもたちは語彙を知っているという前提で授業を進めるのではなく、語彙の習得やその活用を重視することが求められています。

（「学習指導要領の読み方・活かし方」合田哲雄著　P60から引用）

語彙を豊かにし、学力差を埋めるためには？

○社会生活の基盤となる「語彙力」

◇語彙の習得に必要な要素
- 大人同士の会話を聞く
- 大人と対話する
- 友だちと話す
- 読書をする

◇社会構造の変化
- 親子の対話の乏しさ
- SNS中心のやりとり
- 本や新聞を読まない

「語彙力」の差＝「学力」の差

学力が高い子どもが
育つ家庭に共通の特徴

◎家に本がたくさんある。

◎絵本の読み聞かせをしている。

◎英語や外国の文化に触れる
ように意識している。

◎博物館や美術館によく行く。

◎朝食をバランスよく食べさせる。

▲毎日「勉強しなさい」と言う。

▲親がスマホ等でゲームをする。

当たり前のことですが・・・

問：なぜ、子どもの前で先生の悪口を
言ってはいけないのでしょう？

当たり前のことですが・・・

逆の立場なら？

誰を信じていいか分からず、
不安定な状態になる

人の悪口を言う子に育つ！

先生のことを言うことを
聞かなくなる悪影響

「誰かを責める」
のではなく、
「自分にできること」
を考えましょう!

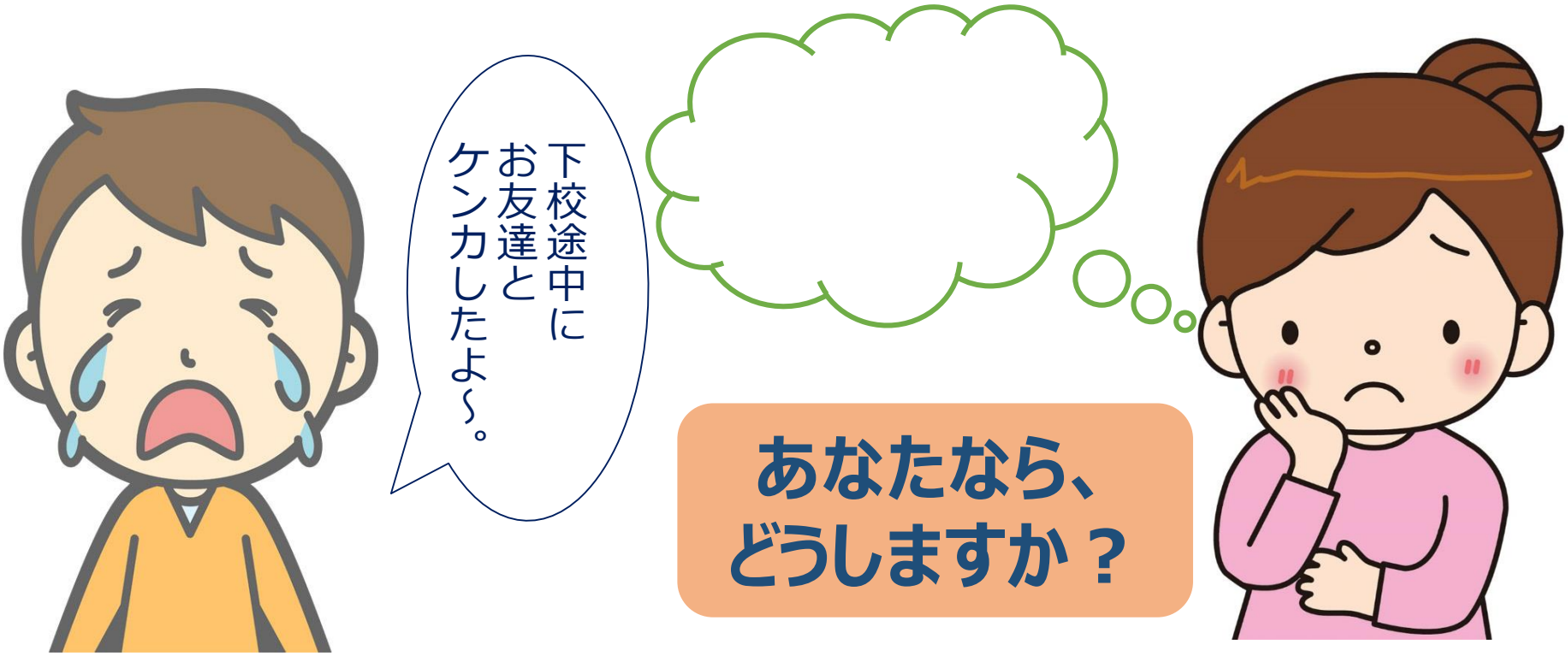
何かあれば、**直接**、学校・先生にご連絡ください！

→学校内での**いじめ、暴力、金銭強要**などはすぐに相談を！

▲夜遅くまで通信でゲーム、冷蔵庫を勝手に開ける←これも学校？？

登下校の指導について

子どもさんが泣いて家に帰ってきました。
ケガはしていないようです。

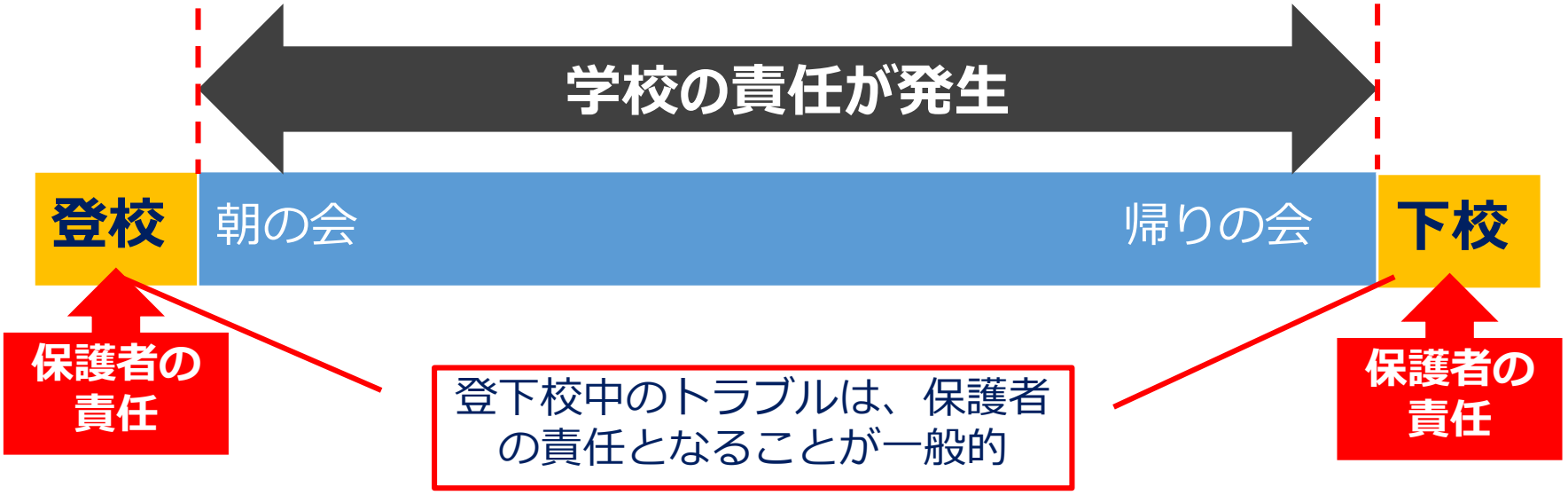


あなたなら、
どうしますか？

お近くの方と意見交換してみてください！

登下校の指導について

登下校時は学校管理下ですが、
基本的に学校の責任は問われません！



（例） ケンカをしてケガをさせた。 石を投げて車を傷つけた。 万引きをした。
ふざけてモノを壊した。 知らない人について行こうとした。 ・・・

※学校管理下なので、保険は適用されます。（ただし、通学路上であることが条件）

登下校の指導について

学校が行うことは？

○登下校を含めた安全に関する指導（交通教室、通学路点検等）
○規範意識に関する指導（道徳教育、生徒指導　等）
○保護者や地域・関係機関（警察等）との連携

先生がもっと
厳しく指導して
ください！

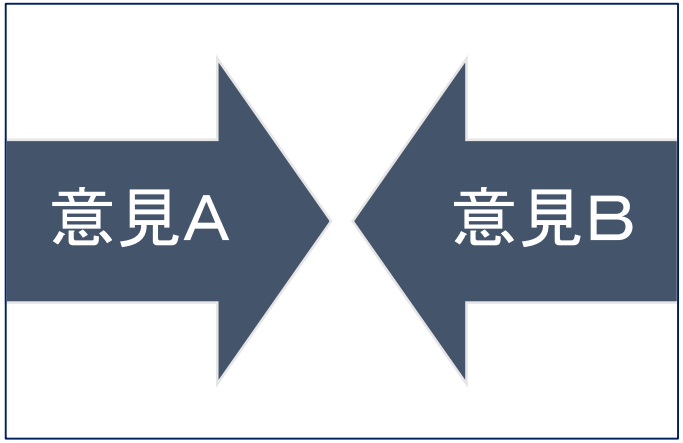
トラブルが起きな
いように、登下校
の見守りを！

相手の親を
呼び出して
もらえますか。

子の教育の**第一義的責任**を
有するのは**保護者**です！
（教育基本法第10条）

登下校の指導について

保護者が行うことは？



保護者の責任で
トラブルを解決する。

対立はあって当たり前。
それを**対話**で乗り越えていく。

そのためには

・**スキル**を身に付ける　・自己の**感情のコントロール**

「トラブルを学びに変える」

「解決するのは保護者自身」